

# 地域ネットワークニュース

～平成27年6月の勉強会のお知らせ & 5月の勉強会報告～

## 第209回 地域ネットワーク勉強会

### 「こどもの発達にあった子育てのポイント」

講師：NPO法人子育てひろば ほわほわ顧問  
永瀬春美氏（JACC認定臨床心理カウンセラー）

※今回の勉強会は、「住民参加型有償サービス子育てサポーター養成研修」との合同開催となっています。

6月12日(金)

午前10時～午後12時

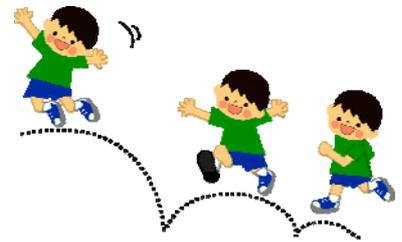
神栖市保健・福祉会館内  
参加費無料

※事前申込みが必要です。  
※託児もあります（要予約）

子どもの発達に個人差があることは誰でも知っていますが、個人差は優劣ではないという視点は案外見落とされているのではないのでしょうか。2歳児の集団の中で、10か月で歩いた子と1歳3か月で歩いた子を見分けることはできません。早く歩いた子の運動能力が優れていたわけではないのです。

食事や睡眠も排泄も、そして遊びや他者とのかかわりも基本は発達なので、偏食・寝つきが悪い・オムツが取れない・乱暴・言うことを聞かないなどの心配ごとは、環境を整えて待つのが最善の解決策です。障害のために新しい能力の獲得が他児より遅いこともありますが、その子なりの発達のペースを尊重することが最善の結果につながることは健常児と同じです。

今回の勉強会では子どもの発達の考え方や発達に合わせた子育てのポイントについて、子育て相談の経験が豊富な永瀬春美先生にお話し頂きます。現在子育て中の母親、幼稚園・保育園・子育て支援施設の保育者など、子育てに関心がある方々の参加をお待ちしています。



お問い合わせ：神栖市社会福祉協議会 地域福祉推進センター 担当：三浦 電話 0299-93-0294



第208回 地域ネットワーク勉強会報告 平成27年5月26日開催  
<参加者21名>

### 精神科救急体制の現状と地域連携

講師：成島俊治氏（精神保健福祉士）  
茨城県立こころの医療センター医療福祉相談室

精神障害者が、精神疾患の重い症状により日常生活上の困難が生じてくると、医療を受けることが困難となり、さらに症状が憎悪して困難が増大するという悪循環に陥ってしまいます。このため、地域生活の維持には、医療と日常生活の支援の両方を提供する必要があります。本人の意向に寄り添う医療と生活支援を両立させるためには、医師、看護師、行政、社協、民生委員などが「多職種チーム」として、それぞれの技術及び価値観から多面的な視野のもとに共同して支援を行うことが極めて有効となります。

そのため、こころの医療センターでは、地域の関係機関と「顔の見える関係づくり」にも注力し、定期的に行われる医療連携会議（保健、医療、福祉関係者が集う会議）や多職種チームによる訪問活動（対象者は未受診者や治療中断者等）などを展開しています。